

令和4年度
事業報告並びに一般会計収入支出決算書

社会福祉法人
横浜市港北区社会福祉協議会

令和4年度 横浜市港北区社会福祉協議会 事業報告

【基本方針】

令和4年度は、地域で長年にかけて培われてきた緩やかなつながりが、コロナ禍においても途絶えることなく、「新しい生活様式」を踏まえて、今後の更なる発展につながるように、計画的な支援を進めました。

また、本会の組織運営や活動に信頼を寄せ、協力いただいている地域や関係機関からの期待に応えられるよう、コンプライアンスの意識を高め、事務・事業の適正化や事件・事故の未然防止に努めるとともに、働き方改革の流れを踏まえた職場環境の整備やワークライフバランスの推進に取り組みました。

【重点取組】

1 コロナ禍における新たな生活様式や困りごとへの対応

コロナ禍での新たな生活様式や変容する地域の状況に応じた取組を進めました。

また、生活福祉資金特例貸付においては状況に応じ適切な体制を整え対応しました。

- ・本会ホームページの充実に加え、動画配信やSNSの活用を進め、本会会員に向けたタイムリーな情報発信を行ないました。
- ・コロナ禍での新たな地域福祉活動者の開拓に向けた取組を進めました。
- ・寄付品やフードドライブでの食品を活用し、生活の困りごとや地域活動の支援につなげる取組を行いました。

2 身近な地域における支援体制の強化

身近な地域で困りごとを受けとめ、支えていく取組を拡充しました。

- ・身近な地域での集いの場の新設や対象者を限定しない居場所の運営が途切れることの無いよう促進施策を整え、「誰にも役割があり、見守りあえる場や活動」を進めました。
- ・地域における情報を住民と支援機関（本会、地域ケアプラザ、区役所など）が共有し、必要な支援や取組につなげる体制づくりを進めました。

3 地区社協活動・小地域活動の支援

「一人ひとりの困りごとを解決できる地域づくり」へ向けて、コロナ禍においても住民の目線で身近な地域での「つながり・支えあい」を推進するための支援を行いました。

- ・コロナ禍での地域福祉活動の再構築に向けた事例・ノウハウの提供を行いました。
- ・地区社協に求められる「話し合いの場づくり」や「身近な地域活動の支援」が推進されるよう、地区社協分科会での事例の共有、共通課題の検討を行いました。
- ・地区社協活動への関心と理解を広めることを目的に、地区社協リーフレットの改訂など

情報発信の強化に取り組みました。

4 港北区地域福祉保健計画の推進

第4期計画を推進するため、区計画における本会の取組を着実に進めるとともに、地域ケアプラザ・区役所と連携して、地域による地区計画の推進を図りました。

5 災害対策の充実

近年、広域に渡って発生している災害に備え、対応体制の構築を進め、特に対外的に重要な役割となる災害ボランティアセンターの円滑な設置・運営に向けて、関係機関・団体と連携を推進するとともに、ICT化を図り具体的な運営場面を想定した体制整備を進めました。

6 事業推進に向けた組織運営の充実・基盤強化

事業の推進に向け、その基礎となる組織運営の充実・強化に取り組むとともに会員組織の拡充に努めました。

- ・コンプライアンスの徹底を図るとともに、働き方改革の流れを踏まえ在宅勤務などの多様な働き方の導入や職場環境の整備に取り組みました。
- ・企業などとの連携・協働を推進し、生活支援体制整備事業への展開を意識しつつ地域課題の解決に取り組みました。
- ・あんしんセンターにおいては、地域連携ネットワークの充実や権利擁護事業から成年後見制度への円滑な移行を行いました。

I 福祉啓発

1 IT を活用した情報の発信

<ひっと とどくー1>

本会の事業や役割、地域や本会会員団体の活動について広く周知を図るとともに、必要な情報が必要な人へ届くよう、ホームページの充実に加え、動画配信や SNS を活用し情報を発信しました。

(1) ホームページ

- ① 地区社協活動やボランティア募集、福祉保健活動拠点の予約状況、各種講座の情報を掲載
- ② 地域福祉保健活動の情報(地区社協・地域ニュース)の発信
- ③ 問合せフォームや電子メールを使用した各種受付
- ④ 地区社協ページの充実(日吉地区社協ページの新設含む)

本会ホームページ閲覧件数

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	30 年度
閲覧件数	42,358	46,759	50,555	46,012	45,674

(2) SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の活用

Twitter(ツイッター)を活用し、ホームページ更新情報や講座・地域情報を発信しました。より利便性を高める目的でホームページのトップ画面に SNS のバナーを設置しました。

(3) 動画配信の活用

新吉田地区社協の事業動画配信

(4) その他

各種会議でオンライン会議と集合型会議の併用を検討・実施し、IT の活用に取り組みました。

- ① 障害者セーフティネット分科会(定例会、役員会)
- ② 保育所
- ③ 地区社協分科会
- ④ (協力)港北区認知症事業講演会のオンライン開催
- ⑤ (協力)みんなの居場所にて民生委員研修動画の視聴
- ⑥ (協力)港北区地域自立支援協議会のオンライン開催、動画配信

2 広報紙「ふくしのまど」「こうほく区社協だより」の発行

<ひっと とどくー1>

地域の福祉活動・本会事業・地区社協の取組・ボランティアセンター情報などを定期的に発信していくため、地域新聞を活用し、広報紙「ふくしのまど」を発行しました。

(1)「ふくしのまど」の発行(地域新聞を活用)

- ①11月106号:社会福祉功労者の表彰特集
- ②12月107号:バリアフリー映画上映会のお知らせ、共同募金運動ご協力のお礼、賛助会費運動の周知、ボランティア募集情報、他
- ③2月108号:ボランティアセンターからのお知らせ、善意銀行ご寄付のお礼

発行部数:新聞折込 56,000部/1回 施設などへの配架 1,160部/1回

配布先:新聞折込・福祉保健活動拠点・地域ケアプラザ・地区センター・

区民活動支援センター、ホームページ掲載など

その他:新聞折込エリア外の地域は増刷し、本会から直接送付(440部/1回)

(2)「こうほく区社協だより」の発行

本会の取組や事業の進捗などをタイムリーに発信するため、地域活動関係者向けに毎月「港北区社協からのお知らせ」をメールにて送付しました。

3 「第40回港北区社会福祉大会」の開催

＜ひっと とどく－1 つながる－1、2＞

区内における地域福祉の発展に寄与することを目的として「第40回港北区社会福祉大会」および「区民フォーラム」の同時開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染防止のため、「区民フォーラム」は中止となり、「第40回港北区社会福祉大会」のみ開催いたしました。

(1)開催日・場所

10月28日 港北公会堂および区役所中庭

(2)内容

- ①第40回港北区社会福祉大会(社会福祉功労者表彰状並びに感謝状贈呈)
- ②本会分科会活動パネル展示
- ④ボランティアの広場(作業所製品の販売、バザー)
- ⑤「社会を明るくする運動」標語コンクール優秀作品の掲示 など

Ⅱ 個人の自立支援

1 港北区社協あんしんセンター事業の実施

<ひっと とどく-1>

高齢者や障害者の自立生活を支援するため、日常生活自立支援事業の普及・啓発を行い、利用者に対するきめ細やかなサービス提供を行いました。また、よこはま成年後見推進センターや港北区成年後見サポートネットなど関係機関と連携し、市民後見人の支援や成年後見制度の周知を行うとともに、権利擁護を推進しました。

(1) 利用対象

- ① 概ね 65 歳以上の高齢者
- ② 成年で障害のある方(身体・知的・精神)

(2) サービス内容

- ① 総合相談
- ② 金銭管理・定期訪問
- ③ 預金通帳など財産関係書類の預かり



▲市民後見サポートネットにて、医療同意を求められた際の対応について検討する市民後見人バンク登録者

(3) 関係機関との連携

- ① 港北区成年後見サポートネット
 - ・全体会(年3回)、専門職会議(年4回)、市民後見サポートネット(年1回)
- ② 港北区地域包括支援センター連絡会 社会福祉士分科会への参画

(4) 普及・啓発

- ① 区役所・地域ケアプラザとともに、コスモス成年後見サポートセンター県支部横浜東地区行政書士との巡回無料相談会の開催(12月3日)
- ② パンフレットや事例集を使用した関係機関への制度の広報・周知

契約・相談件数

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	30年度
契約件数	58	54	51	55	47
うち新規	11	12	4	16	19

年度		令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	30年度
延活動数	初回相談	57	47	52	95	51
	継続相談・活動	4,134	4,411	4,587	3,711	4,359

※成年後見制度への移行に係る対応ケース(令和3年度1件、令和4年度2件を含む)

2 要援護者移送サービス事業の実施

＜ひっと ひろがる－１、とどく－１＞

感染対策を行い活動できる範囲で、公共の交通機関の利用や家族などによる送迎が困難な高齢者および障害者に対して移送サービスを実施し、日常の外出支援を行いました。

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	30年度
活動件数	66	42	102	598	886

◆ご報告:要援護者移送サービス事業について

近年、タクシー事業者におけるUDタクシーの導入など、外出しやすい環境が整ってきました。また、就労する高齢者の増加などにより「担い手」確保が困難となり、ボランティアによる事業自体の見直しを図った結果、本会が行う送迎サービス事業は、令和5年3月31日をもちまして事業を終了いたしました。

3 障害児・者のための外出相談室

港北区移動情報センター「おでかけGO!港北」の実施

＜ひっと ひろがる－１、つながる－２、とどく－１＞

障害児・者の移動を支援する拠点として、移動手段の相談・情報提供や地域への啓発や移動支援に関するボランティア人材の発掘、育成などを行いました。また、新入学の準備、学校生活、卒業後の備え、社会生活など、ライフステージごとのニーズ把握と具体的な対応について必要な支援に取組みました。

(1)利用対象

障害児・者およびその家族

(2)移動に関する相談や情報提供(制度説明・福祉サービス事業所などの紹介)

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	30年度
相談件数	305	210	161	222	190

(3)保護者、関係機関との連携

①保護者座談会の開催

(8月15日、16日、18日、9月5日、12日、10月24日、11月8日、参加者総数 18名)

②放課後等デイサービス情報交換会の開催(12月5日 参加者 27名)

(4) 支援者の発掘とフォローアップ

- ①ガイドボランティア座談会(3月6日 参加者 23 名)
- ②ガイドボランティアのフォローアップ

(5) 横浜市ガイドボランティア事業(※)の実施

- ①ガイドボランティア活動のコーディネート
- ②奨励金の支払いなどの事業実施

ガイドボランティア登録者数

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	30 年度
登録者数	51	44	45	52	60

※横浜市ガイドボランティア事業

障害のある方の外出付添いボランティアに対し、奨励金が支払われる横浜市の事業

(6) 事業の周知・広報

- ①広報紙「港北区移動情報センターだより」の発行(9月、11 月、1 月 400 部/1回)
- ②港北区移動情報センターリーフレットの発行(10 月)

(7) 推進会議の開催

回	開催日	内容
1	8月 23 日 9名	令和 3 年度事業報告 令和 4 年度第 1 四半期事業報告 令和 4 年度の予定について 意見交換
2	2月 28 日 12 名	令和 4 年度第 2 四半期～第 3 四半期の相談傾向について、 令和 4 年度事業報告 (令和 5 年度 1 月末現在) 令和 5 年度の予定について 意見交換

4 子育て応援情報サイト、情報地図「ココマップ」による情報提供

<ひっと とどく-1>

区内の子育て世代支援を目的とし、認定 NPO 法人びーのびーのと協働して、ホームページや子育て応援マップ(紙版)を通じて子育て情報を発信しました。

ホームページについては、改訂版の運用をスタートし、必要な情報が、タイムリーかつ簡単に手に入るよう更新を行いました。

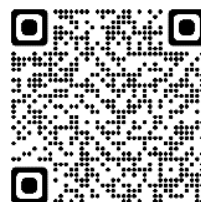
子育て応援マップ(紙版)については、住民からの情報をもとに、より利便性が高く、子育てに役立つ情報を掲載した改訂版を作成、配布しました。

(1)スマートフォンやタブレットにも最適化したホームページによる、タイムリーな情報提供

ココマップ HP 【<https://www.kouhokushakyo.or.jp/>】



ココマップ(WEB版)



ココマップ(WEB版)
二次元バーコード

ホームページ閲覧件数

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	30年度
閲覧件数	135,284	153,479(※)	257,722	291,258	248,591

※令和3年度より、閲覧件数のカウント方法を変更しました

(2)子育て応援マップ(紙版)改訂版の作成と配布(9月 7,000部)

(3)編集委員会の開催(年11回)



ココマップ(紙版)

5 生活福祉資金貸付事業の実施

<ひっと とどくー1>

低所得世帯、障害者や日常生活上療養を必要とする高齢者のいる世帯へ、資金の貸付を行うことによって、その世帯の生活の安定と経済的自立に向けた支援を行いました。

また、特例貸付(※)が9月末をもって終了しました。1月からは順次、償還が始まり償還猶予や免除の相談が増加しました。区役所等の関係機関と連携しながら支援を続けています。

※特例貸付・・・新型コロナウイルス特例措置の緊急小口資金(初回)、総合支援資金(延長)、総合支援資金(再貸付)

(1) 通常の貸付・相談状況

相談・問合せ件数 1,177 件 (延べ件数、関係機関との連絡を含む)

新規貸付件数

年度		令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	30 年度
生活福祉 資金	福祉資金	2	3	1	1	2
	教育支援資金	12	30	20	14	25
総合支援資金		0	0	0	1	0
つなぎ資金		0	0	0	1	0
不動産担保型生活資金		0	0	0	1	1
緊急小口資金		1	0	0	1	5
合 計		15	33	21	19	33

(2) 特例貸付(令和2年3月 25 日から令和4年9月 30 日まで)

相談・問合せ件数 1,796 件 (延べ件数、関係機関との連絡を含む)

特例貸付申請件数

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
緊急小口資金	183	832	2,022	11
総合支援資金	164	684	1,227	0
総合支援資金(延長申請)	－	297	561	－
総合支援資金(再貸付)	－	531	222	－
合 計	347	2,344	4,032	11

※総合支援資金延長申請は令和2年7月28日から令和3年3月 31 日まで、総合支援資金再貸付は令和3年2月3日から令和3年 12 月 31 日まで。

(3) 関係機関との連携

港北区役所生活支援課と随時連絡・調整を行いました。

6 困りごとのある人への支援

一人ひとりの生きづらさや社会生活を営む上での困りごとの相談に対して、相談を受けとめ、必要に応じて関係機関や制度、サービスなどの紹介・調整を行いました。また、地域住民から寄せられた地域の課題解決のための仕組みづくりへの支援など、支援を行える体制づくりを進めました。

(1) 総合相談

重層的支援体制整備事業でもある「属性を問わない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」の3つの支援を一体的に捉えて、相談対応を行いました。

(2) 各事業との連携

- ①事業における職員の気づきを話し合える場の確保(月2回)
- ②専門職としての力量を高めるための研修、学習の場の確保

7 各種ネットワークへ参画

地域福祉に関する様々な支援機関、団体のネットワークに参画し、協働しながら専門機関としての支援体制を構築しました。本会の視点を活かし、個別の支援課題から地域の支援課題の抽出へつながるよう努めました。

(1) 各種連絡会、ネットワーク会議

- ①港北区地域作業所連絡会
- ②港北事業者連絡会「ガンバ港北」
- ③港北区成年後見サポートネット
- ④港北区地域包括支援センター連絡会 社会福祉士分科会
- ⑤港北区高齢者虐待防止連絡会
- ⑥港北区キャラバンメイトのつどい
- ⑦幼保小連携会議
- ⑧地域ケア会議(区レベル)

(2) 港北区地域自立支援協議会

本会分科会活動と連携し、映画上映会を開催しました。

Ⅲ 地域の福祉力の向上

1 地区社会福祉協議会への支援【重点】

＜ひっと つながる－１＞

住民に一番身近な社協である地区社協の活性化と住民への理解促進、住民に信頼される地区社協運営の支援を行いました。また、地域活動を支援するための食品寄付の仕組みの本格実施や、新たな地域のつながりづくりの手法である ICT をテーマとしたセミナーを開催しました。

(1) 区域での検討・共有の場・機会の設定

①会長・事務局長合同会議(地区社会福祉協議会分科会)(年4回)

※年4回の開催を計画していましたが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、1回を書面開催としました。

※集合開催については、集合型とオンライン型の併用による開催(ハイブリッド開催)としました。

②事務局長会議(年3回)

※年3回の開催を計画していましたが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、1回を書面開催としました。

③情報交換会(会長・事務局長合同開催 1回／9月 14 日)

各地区における ICT の活用状況やボランティア活動の現状と課題について、情報交換を行いました。

④会長・事務局長あて定期通信(本会の取組や地域情報など)の発行(年 12 回)【再掲】

(2) 各地区の取組状況の確認や課題共有・検討

①随時 各地区の会議・事業などへの参画

②地区社協役員と本会事務局との懇談会 (13 地区にて実施／1月 11 日～2月 14 日)

③地区社協状況書の作成と活用

④SNS を活用した食品配分の仕組み「こうほく たべまる」運用 (年 11 回実施)

(3) 地区社協活動に関する広報・啓発

①地区社協ホームページの作成(日吉地区、城郷地区、新吉田地区)

②地区社協リーフレットの改訂(樽地区、師岡地区、大倉山地区、城郷地区)

(4) 研修の実施

①新任地区社協役員を対象とした研修 (1回／6月9日・参加者・5人)

②地区社協セミナー「高齢者の暮らしと ICT」(2月 16 日・参加者 38 人)

③よこはまの地区社協全体会動画視聴会(1回／6月 13 日・参加者 2人)

(5) 市域での検討・情報共有

①地区社協状況書の作成【再掲】

②市内地区社協の取組事例の共有

■地区社協会長・事務局長合同会議 ※場所:港北区福祉保健活動拠点

回	開催日	主な内容
1	4月 21 日 ①会長会 13 名 ②事務局長会 13 名 (内オンライン 参加5名)	1 港北区社会福祉協議会評議員候補者の推薦について 2 地区社協活動費(市社協補助金)について 3 ひっとプラン港北地区別計画推進にかかる事務費の助成について 4 地区社協状況書について 5 賛助会員 会員募集にかかる運動について 6 令和4年度 地区社協事業助成金について 7 地区社協データ集 8 地区社協全体会の動画配信・視聴会開催について 9 令和4年度 区社協における地区社協支援の取組について 10 第4期「ひっとプラン港北」地区計画推進のためのガイドライン 11 その他 ・令和4年度 地区社会福祉協議会 総会開催状況について ・地区社協新任研修について ・令和4年度 区社協事業計画について ・港北区社会福祉協議会 事務分掌
2	6月 17 日 ①合同会議 会長 12 名 事務局長 13 名 ②事務局長会 13 名 (内オンライン 参加3名)	1 港北区社会福祉大会顕彰候補者の推薦について 2 令和4年度 港北区社会福祉協議会 正会費の納入について 3 令和4年度 地区社協事業助成金(賛助会費)の交付について 4 令和4年度 地区社協新任研修について 5 地区社協リーフレット改訂 作成時期の修正について 6 令和4年度 総会開催状況について 7 令和4年度 各地区の取組方針について 8 港北区社会福祉協議会 令和3年度事業報告・決算概要(案) ②事務局長会では「賛助会費運動」の各地区取組状況について意見交換
3	9月 14 日 合同会議 【書面開催】	1 地区社協事業助成金(第1期)交付について 2 年末たすけあい運動の実施について 3 第7回 よこはま地域福祉フォーラム 開催について 4 その他 ・各事業等の今後の予定について ・令和4年度 共同募金・動物キャラクターについて
4	11月 18 日 合同会議	1 令和4年度 地区社協事業助成金(第2期)交付について 2 地区社協役員と区社協事務局との懇談会について

	会長 11 名 事務局長 12 名 (内オンライン 参加 5 名)	3 「こうほく たべまる」現状報告について 4 来年度の区社協における地区社協活動支援について 5 外出支援サービス及び区社協送迎サービスについて 6 その他 ・「ひっとプラン港北」地区計画ニュース等の作成支援 ・地区社協活動費について ・「ふくしのまど」秋号(11/10)について ・港北区社協 R4 年 11 月のお知らせ
5	2月 16 日 事務局長会議 【書面開催】	1 令和5年度 港北区社協賛助会員運動について 2 【報告事項】 令和4年度 年末たすけあい募金実績額・配分額一覧
6	3月 16 日 合同会議 会長 11 名 事務局長 12 名	1 地区社協役員と区社協事務局との懇談会結果について 2 地区社協セミナーについて(ご報告) 3 令和4年度 地区社協事業助成金の交付について 4 年末たすけあい配分並びに募金結果について 5 令和5年度 地区社会福祉協議会総会日程について 6 賛助会費の領収書について 7 その他 ・令和5年度 地区社協関係会議日程 ・福祉よこはま(No.206) ・マスク着用について ・港北区社会福祉協議会 R5. 3 月のお知らせ

■地区社協新任研修 ※場所:港北区福祉保健活動拠点

回	開催日	主な内容
1	6月9日 5名	1 社会福祉協議会(社協)とは 2 地区社協とは 3 港北区社協とは 4 港北区社協と各地区社協の協働 5 組織運営と予算管理

■地区社協情報交換会 ※場所:港北公会堂 1号会議室

回	開催日	主な内容
1	9月 14 日 10 名	1 情報交換 ・各地区における ICT の活用状況 ・各地区におけるボランティア活動の現状と課題 2 その他

■地区社協セミナー ※場所:港北区福祉保健活動拠点

回	開催日	主な内容
1	2月 16 日 38名	地域で「つながり続ける」ために… 高齢者の暮らしと ICT ・講義「豊かに地域に住み続けるための ICT～あなたはどうか活かせますか?～」 講 師:澤岡 詩野 氏 (公財)ダイヤ高齢社会研究財団研究部主任研究員 取組紹介:よろず相談サロン(大曽根地区) ・グループでの意見交換

2 港北区地域福祉保健計画「ひっとプラン港北」の推進【重点】

<ひっとプラン>

「ひっとプラン港北」は「誰もが自分らしく安心して暮らせるまち」を目指し、住民と関係団体、行政などが連携して地域の福祉課題の解決に取り組み、助けあいや支えあいのある地域づくりを進めるための計画です。令和4年度は、第4期計画(5か年計画)の2年目として、区計画、地区計画の取組みを推進しました。

(1) 令和4年度の取組

①第4期区計画および地区計画の推進

区計画推進のため、「ひっとプラン港北」策定・推進会議および事務局会議を開催しました。各地区計画の推進会議に随時出席し、計画推進を支援しました。

②人材の発掘・確保のための取組の検討

「地域活動を担う人材の確保・育成」を推進するための取組として「あなたのイイね！伝えよう～まちの素敵な取組コンテスト～」を開催しました。

・募集期間 10月3日～11月30日

・応募総数 29作品

・一般、WEB投票(1月10日～1月31日、投票総数306)および審査会(2月15日)で入賞作品決定

(2) 推進体制と推進の取組

	推進体制	推進の取組
区計画	①「ひっとプラン港北」策定・推進会議の開催(区域 9月21日) ②「まちの素敵な取組コンテスト」審査会開催(2月15日) ③「ひっとプラン港北」事務局会議の開催(月2回程度)	①区域の計画推進

地区計画	①地区計画サポートスタッフ会議への参 画(随時) ②地区推進会議への参加(随時)	①地区計画推進・策定費の助成 ②地区計画各種事業、取組などへ の参加協力
------	--	--

(3) 広報啓発活動

①地区計画ニュースの発行

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度地区計画ニュースの発行は行いませんでした。

②区民フォーラムの開催

区民フォーラムに代わり、地域活動の魅力を伝える「あなたのイイね！伝えよう ～まちの素敵な取組コンテスト～」を実施しました。

③動画配信などを通じた周知

「まちの素敵なコンテスト」入賞作品を活用した地域活動の魅力 PR 動画とリーフレットを作成しました。

④高齢者・障害者等の利用に配慮(アクセシビリティ)した対応

港北区地域福祉保健計画「ひっとプラン港北」の音声訳版を作成しました。

3 地域ケアプラザとの一体的な地域支援【重点】

＜ひっと つながる－１、とどく－１＞

本会の目指す「身近な地域のつながり・支えあい」を推進するため、地域ケアプラザと連携した地域支援を行いました。本会の持つ区域のネットワークや強みを活かし、一人ひとりの生きづらさや困りごとに対して必要な支援を行うための方針の検討や、地域アセスメントを共有することで、地域のニーズ把握を行い具体的な地域活動について検討しました。

(1) 推進体制

- ① 地域ケアプラザ定例カンファレンスへの参加
- ② 地域ケア会議への参加・協力

(2) 地域ケアプラザとの連携

- ① 地域活動・交流コーディネーター連絡会の定例開催(月1回)
地域関係会議への出席、区内情報の把握と共有、検討
情報共有シートを活用した地域支援状況の共有
- ② 2層生活支援コーディネーターとの協働および活動支援
- ③ 日常的な活動支援および協力



高田セカンドライフ講座「おとな大楽」
※高田地域ケアプラザとの共催



セカンドライフ講座「サンタになって地域デビュー！」
※篠原地域ケアプラザとの共催



認知症啓発講演会
※新羽地域ケアプラザとの共催

新しい人材発掘のための講演会「港北区民の底力」

8月31日 参加者74名 会場:港北公会堂



港北区

地域活動・事業等のご紹介

- ① **セカンドライフ講座等** 参加者募集中!
- ② **地域活動・ボランティア**
- ③ **相談先のご案内**

講演会で各ケアプラザで実施する講座や地域活動参加のための相談先をPRしました

④スキルアップのための研修会の共催実施

2月2日 参加者 19 名 会場:区福祉保健活動拠点



研修「避難所運営ゲーム HUG」の実施
※(福)共生会運営地域ケアプラザとの共催

(3)コミュニティソーシャルワーカーとしての資質向上

- ①地区別・業務別課題の検証と対応についての業務ミーティングの実施
- ②外部研修、会議への参加

4 生活支援体制整備事業の推進【重点】

＜ひっと ひろがる－１、とどく－１＞

高齢者がいつまでも住み慣れたまちで元気に暮らせるよう、生活する上での困りごとやその解決に向けた方策について、住民や事業者など様々な方と検討しました。また、身近な地域での助けあいの仕組みづくりや支える人・団体の支援に努めました。

事業推進のため本会に配置されている1層生活支援コーディネーターは、地域ケアプラザの2層生活支援コーディネーターと協力・連携しながら、取組を進めました。

(1)課題解決に向けた取組・推進体制

- ①横浜市生活支援体制整備事業推進会議への参加(月1回)
- ②事務局会議(月1回)
 - 区域のアセスメント・取組共有および区域課題の検討
- ②様々な主体との協議の場の設定と連携促進

(2)2層生活支援コーディネーターとの協働および活動支援【再掲】

- ①港北区2層生活支援コーディネーター連絡会の開催(月1回)
 - 各圏域での取組共有・検討、連絡会を主体とした取組(事業)の検討、関係会議報告、情報提供ほか

②連絡会を主体とした取組(事業)の支援

- ・講座「ボランティアをやってみようと思ったけれど…私の身近でできること」



7月22日 参加者18名 会場:港北区福祉保健活動拠点
「おすすめ活動カード」作成



- ③各地域ケアプラザ圏域での取組支援・日常的な活動支援および協力
- ④Ayamu(地域活動・サービスデータベース)のWeb版公開および
冊子「きょういく・きょうようガイド」作成支援

(3) 新たな社会資源や人材発掘に関する取組・支援

- ①介護予防・生活支援サービス補助事業(サービスB)の活動支援・相談対応
 - ・新規申請団体・新規区分申請への支援(4団体)
 - ・継続活動団体への支援(9団体)
 - ・北部4区(港北・緑・青葉・都筑)サービスB活動団体情報交換会の開催
(2月22日/参加者56名)

②地域活動などの担い手発掘のための取組

- ・講演会「港北区民の底力」【再掲】

③様々な「通いの場」づくり・運営の支援

(4) 広報・啓発

ホームページやSNSを活用した地域活動などの周知

5 みんなの居場所支援事業の実施【拡充】

＜ひっと ひろがる－1、つながる－1、2、3、とどく－1＞

世代を問わず誰もが参加できる交流の場・機会を増やすため、地域の実情にあわせた居場所の立ち上げや活動を継続するための支援を行いました。

(1) 立ち上げ支援

- ①地域からの相談対応

- ②検討・協議の場への参画
- ③地域向け講座・研修などへの協力

令和4年度「港北区ふれあい助成金」新規立ち上げに関する活動への助成実績

区分	申請事業	団体名
新規立ち上げ事業	スリーAを通じた高齢者の交流の場	スリーAにつぱっぱ
新規立ち上げ事業	高齢者サロン	クローバーカフェ KIKUNA
新規立ち上げ事業	高齢者の交流の場	大豆戸町内会 茶処ま〜め〜ど

(2)継続支援

- ①助成金などを活用した運営の支援・相談対応

令和4年度「港北区みんなの助成金」居場所の運営に関する活動への助成実績
(コロナ特例「みんなの居場所 継続運営支援助成」)

区分	申請事業	団体名
居場所	居場所事業 (事業運営に関わる経費)	もろおか里山倶楽部
居場所	居場所事業 (事業運営に関わる経費)	ゆずの樹

- ②ICT 活用の支援

(3)区内子どもの居場所の活動状況調査実施

(4)その他

- 広報紙を活用した普及啓発

6 港北区ふれあい助成金・港北区みんなの助成金による活動支援

<ひっと ひろがる-2>

「港北区ふれあい助成金」「港北区みんなの助成金」を通じ、区内のボランティアグループ・当事者活動・介護予防活動などへの支援を行いました。また、新規立ち上げ区分では、要援護者支援としての集いの場立ち上げ支援を継続しました。

助成規模 19,284,502 円 ※辞退2団体分 90,000 円除く

助成団体 214 団体 ※辞退2団体除く
※別紙「配分団体一覧表」(3月末時点)

港北区ふれあい助成金・港北区みんなの助成金審査会

開催日	主な内容
6月 27 日	1 委員長の選出 2 令和3年度 港北区ふれあい助成金・みんなの助成金報告 3 令和4年度 港北区ふれあい助成金・みんなの助成金について 4 令和4年度 助成金の審査について
7月4日	1 令和4年度 港北区ふれあい助成金の追加審査について (新規申込団体)
3月8日 【書面開催】	1 令和4年度配分実績及び令和5年度配分予定(案)について 2 令和5年度助成金実施要領(案)について

7 福祉保健活動拠点の運営

<ひっと ひろがる－1>

会議や研修・事業実施の場の提供を通じて、地域活動の支援を行うとともに、地域ニーズの把握に努め、住民や関係機関とともに課題解決に向けて取り組みました。また、区民利用施設の指定管理者として、より公平・公正なサービスの提供と利用者ニーズに即した運営、施設間のネットワークづくりに努めました。

(1)利用調整会議の開催(3月)【書面開催】

福祉保健活動拠点の利用団体との情報交換および利用についての話し合いを行いました。

(2)施設間連携会議への参加

区内公共施設などとの情報交換および連携のための話し合いに参加しました。(12月14日)

(3)ホームページなどを活用した情報提供(随時)

貸室の空き状況や、利用案内についてホームページとSNSでお知らせしました。

(4)登録団体・利用件数

登録団体 123 団体、稼働率 42.7%

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用件数	2,131	1,740	1,503	2,581	2,865

(5) 新型コロナウイルス感染対策について

新型コロナウイルス感染防止のため、衛生用品の整備、館内の消毒・換気などを行いました。

8 「食」を通じた地域活動および暮らしの支援【拡充】

＜ひっと ひろがる－1、つながる－1、とどく－1＞

食品ロスの軽減や助けあいの気持ちで、個人・団体・企業から寄せられた寄付品（食品）を必要な地域活動や個人に届ける支援を継続しました。

受入れた寄付品（食品）は消費期限（月単位）ごとに分けし、必要に応じて素早く対応できるよう適正な管理を行いました。

(1) 地域活動の支援

【再掲】「こうほく たべまる（SNS を利用した配分の仕組み）」継続による地区社協と地域活動、本会の連携をはかりました。

対象団体 地区社協の推薦を受けた8団体

配信回数 11 回（299 パッケージを配分）

(2) 個人の暮らしの支援

生活福祉資金貸付事業など本会相談者への貸付資金が交付されるまでのつなぎや、貸付事業で対応できない生活困窮者を関係機関と連携しながら相談対応していくための支援方法の一つとして食支援を実施しました。実施にあたり、区役所や地域ケアプラザなどの支援機関、民生委員児童委員や主任児童委員などの支援者、また本会会員との連携により相談者へお渡ししました。

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	30 年度
実施件数	102	96	85	32	55

Ⅳ ボランティア活動の推進

1 港北区ボランティアセンターの運営

＜ひっと ひろがる－１＞

個人や団体を対象にボランティアに関する相談や情報提供、活動先の紹介などを行いました。ボランティアをしたい個人・団体と、ボランティアを求めている個人・団体をつなぎ、また、地域で活動する人材の発掘、活動の場や横のつながりづくり、福祉に対する意識啓発などを行い、区域での福祉力向上に努めました。

福祉保健活動拠点に設置している「港北区ボランティアセンター」と西部方面ブランチとして「やすらぎの家」を運営しました。

(1) ボランティアセンター運営委員会の開催(3月)

令和4年度事業報告と令和5年度事業計画の説明、善意銀行の配分について審議を行いました。

(2) 西部方面ボランティアセンター「やすらぎの家」の運営

区ボランティアセンターのブランチとして、主に区西部方面を中心としたボランティアセンターの運営を行いました。

- ①主に西部方面を中心としたボランティアコーディネート(月・水・金)
- ②みんなの居場所としての開館(月・水・金)
- ③「やすらぎの家」運営会議の開催(年6回)
- ④小学生・中学生・高校生向け福祉講座の実施(7月25日、26日 15名)
- ⑤コーディネーター勉強会の開催(1月23日)

(3) ボランティア入門・育成講座の企画・実施

①バルーンアートを学ぼう！～地域で、サロンで…みんなで楽しく作ってみよう～

地域のサロン等で活躍をされている主任児童委員を対象とし、子ども向けのイベント等で活用できるようなスキルをさらに深めてもらうためにバルーンアート講座を開催しました。その後も地域のサロンで小林氏によるバルーンアート講座の開催にもつながりました。

9月3日 参加者5名 協力:小林 啓介氏



②ハイドロカルチャー(観葉植物)を作ってみよう！

ボランティア活動へのモチベーション維持や今後のボランティア活動の選択肢を広げてもらうためにハイドロカルチャー講座を開催しました。

2月6日 参加者 11 名

協力:よこはま緑の推進団体港北区連絡会
こども植物園 田中 玲子 氏



(4) ボランティア団体との連携

①港北区ボランティア連絡会定例会への参加

定例会の参加およびボランティアの広場、ボランティアの集いの開催に協力しました。

②各地区ボランティア連絡会定例会への参加

③地域のボランティア団体との連携

(5) 広報・情報提供

①「ふくしのまど」の発行 【再掲】

ボランティア情報や地域福祉に関する情報、活動などについて発信

②ホームページや SNS を通じたボランティア情報の発信

本会ホームページや SNS を通じてボランティア情報を発信し、多くの方にボランティア情報を届けました。

③ボランティアニーズ情報紙の発行(年8回)

(6) ボランティアコーディネート力の向上

①ボランティアコーディネーター定例会(事例検討 月1回)

②ボランティアコーディネーター研修の受講

・ボランティア全国フォーラム 2022 オンライン 2名)

・ボランティアコーディネートを学ぶ2～ボランティア受け入れのマネジメント(オンライン 2名)

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	30 年度
紹介件数	18	20	7	65	105
コーディネート率	56%	62%	64%	68%	74%
登録人数(個人)	308(35)	273(39)	619(9)	612(54)	663(70)
登録グループ数	64(1)	63(2)	88(1)	87(5)	82(6)

2 港北区災害ボランティア連絡会の運営

<ひっと とどく-2>

港北区災害ボランティア連絡会事務局として、災害ボランティア活動の普及・啓発に協力しました。連絡会会員が地域防災拠点運営に携わる上での共通理解を深めました。

区役所や横浜市災害ボランティア支援センターとの連携強化・情報共有を進めました。

(1) 災害ボランティア連絡会

定例会(年 11 回)

役員会(年 13 回)

(2) 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練(シミュレーション訓練)

1月 29 日 参加者 18 名

(3) 災害ボランティア連絡会ニュースの発送(年 12 回)

(4) 災害情報システムの導入

横浜市社会福祉協議会が導入した災害情報システムを1月に市内 18 区社会福祉協議会でも一斉に導入しました。

3 福祉教育・福祉啓発の推進

<ひっと ひろがる-2>

福祉意識の醸成、次世代育成を目的に学校や地域、企業からの依頼により福祉教育・福祉啓発を行いました。

(1) 福祉教育・福祉啓発相談調整

体験学習や講座に関する相談に対応し、企画や協力者紹介などを行いました。依頼者のニーズに柔軟に応えるとともに、本会の福祉教育の取組みを周知しました。

対応件数 21件

令和4年度 福祉教育対応一覧							
No	地区	学校・団体名	対象	人数	実施内容	協力者	実施日
1	日吉	日吉南小学校	4年生 3クラス	125	バリアフリー教室(ノンステップバス、UDタクシー、視覚障害のある方への対応)	国土交通省関東運輸局、視覚障害当事者、市ボランティアセンター、タクシー会社、バス会社	11月14日
2	網島	北網島小学校	2年生 3クラス	72	防災の一環として要援護者への対応・接し方等を学ぶ	こことも	10月16日
3			5年生 3クラス	100	防災の一環として高齢者体験をし、地域に暮らす高齢者との接し方や自分にできることを考える	区社協(プログラム担当)	10月16日
4		網島小学校	4年生	-	都市整備局都市交通課による福祉体験出前講座	区社協(車いすの貸出)	11月25日
5	大曽根	大曽根小学校	2年生 5クラス	156	ベタンク体験を通して、地域の方と交流し、遊びや人とのかかわりの楽しさを感じる	大曽根スポーツ推進委員、学校コーディネーター、保護者	12月1日
6			3年生 5クラス	157	聴覚障害理解や手話を学ぶ	聴覚障害当事者、手話サークル梅の会	10月31日 その後も実施
7			4年生 4クラス	152	①高齢者疑似体験 ②③④⑤高齢者とのかかわり	①区社協 ②③④⑤オレンジの会	①6月13日 ②7月4日 ③10月20日 ④12月6日 ⑤12月15日 ⑥1月19日 ⑦2月7日 ⑧3月7日
8			5年生 4クラス	145	命の尊さについての講話や体験的な活動	どろっぶ	講師紹介
9			6年生 4クラス	129	認知症理解	樽町地域ケアプラザ	11月28日
10	師岡	師岡小学校	4年生 2クラス (4・5組)	70	ボランティアについて。地域(師岡)でボランティア活動をしている人の話を聞いたり、現地に行つて体験をしてみる。	師岡地域のみなさん(連合、地区社協民児協、熊野神社)	①11月21日 ②12月12日 ③3月22日
11	大倉山	太尾小学校	4年生 3クラス	122	視覚障害理解や誘導の方法について学ぶ	視覚障害当事者(盲導犬ユーザー)	11月2日
12			5年生 4クラス	132	発達障害やその特徴や思いについて理解を深める	ろう特別支援学校 橋高先生	12月12日
13			6年生 3クラス	111	障害理解・中学生に向けたエール	義足アスリート	12月12日
14		大綱小学校	2年生 5クラス	142	聴覚障害理解や手話を学ぶ	聴覚障害当事者、手話サークル梅の会	11月18日
15	篠原	篠原西小学校	4年生 3クラス 個別級	107	視覚障害理解、点字体験	区社協(点字、白杖、疑似体験セットの貸出)	11月1日～8日
16			全学年	-	視覚障害の当事者や盲導犬ユーザーの講話(校内テレビ放送)	視覚障害当事者や盲導犬ユーザー	相談キャンセル
17		篠原中学校	3年生 6クラス	160	①高齢者体験 ②認知症について ③赤ちゃん体験	主任児童委員、篠原地域ケアプラザ、どろっぶ	2月21日
18	新吉田	やすらぎの家	小学校3年生 ～高校3年生	①10 ②5	①車いす体験とDVDの視聴 ②手話体験	こことも、港北区聴覚障害者協会、新吉田地区社協、新吉田地域ケアプラザ	①7月25日 ②7月26日
19	高田	民児協	民生委員	-	障害児とのかかわりや対応について学びたい	こことも	次年度実施予定
20	区内	夏のふくし体験	小学5年生～ 高校生	4	「いま、わたしにできること」～ふだんのくらしのしあわせ体験～あなたのまちの「ふ・く・し」の活動をのぞいてみよう	①高田コミュニティカフェゆずの樹(1名) ②もろおか里山倶楽部(1名) ③文の友(手紙・絵手紙ボランティア)(2名)	①8月2日 ②8月3日 ③8月8日
21	企業	トレッサ横浜	職員	18	福祉体験(視覚障害者誘導・車いすの使い方)	視覚障害当事者、樽町地域ケアプラザ	4月11日

(2) 機材の貸出

福祉体験で使用する機材(車いすや高齢者疑似体験セットなど)を貸出しました。

機材貸出件数 16 件

(3) 「いま、わたしにできること」～ふだんのくらしのしあわせ体験～

福祉とはなにかを学び、子どもの成長の糧(共に生きる力)となるよう、地域福祉活動団体とともに講座を開催しました。活動者の想いや活動内容を見聞きすることで子どもたち自身が「ふくし」について考える機会を設けました。

日 時	内 容	協力団体	申込数(欠席)
7月 20 日～	導入動画配信「ふくしってなに？」		
8月2日	地域の誰もが集える居場所見学 ・居場所を開設した活動者の想いや活動内容	高田コミュニティ カフェゆずの樹	2名(1名)
8月3日	内容をうかがい、活動の場を見学	もろおか 里山倶楽部	1名
8月8日	手紙でつながるボランティア活動 ・誰かに絵手紙を送ることがどのような意味を持つのかお話を聞き、実際に気持ちを込めて絵手紙を描く体験	文の友	3名(1名)



(4) コロナ禍での福祉教育実施支援

コロナ禍での福祉教育実施に向け、動画配信を利用しました。

4 寄付文化の醸成に向けた取組み

＜ひっと ひろがる－１、つながる－１＞

多くの寄付金をいただくとともに、預託品としておもちゃや子ども用玩具、文房具などをお預かりし、必要な方へお渡ししました。また、寄付者と地域の活動団体をつなぎ、資金や物品の提供だけでなく、顔の見える関係づくりに努めました。

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	30 年度
寄付金件数	35	32	29	35	43
預託品件数	24	23	25	2	3
寄付金総額(円)	1,132,406	1,248,386	6,754,571	1,634,346	1,878,264

・配分の様子(一部抜粋)



今年もたくさんの寄付をありがとうございました



V 信頼される組織運営

1 組織体制の整備【強化】

<ひっと ひろがる—1>

本会は会員組織として、地域福祉の活動に携わっている様々な団体や機関(地区社協、自治会町内会、民生委員児童委員、ボランティア団体、福祉施設、行政機関など)と、知恵と力と資金を出し合って福祉のまちづくりを行っています。正会員拡充のため、本会の事業内容や各種情報の発信、会員セミナーの開催などを行いました。

(1) 会員組織の拡充

会員数

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	30年度
会員数	228	235	245	252	255
(新規)	(0)	(0)	(0)	(2)	(7)

会員内訳

正会員種別		団体数
第1種	公私社会福祉事業施設及び団体	56
第2種	民生委員・児童委員 ※民生委員・児童委員は個人会員として加入	23
第3種	地区社会福祉協議会	13
第4種	地区連合自治会町内会	13
第5種	当事者団体	38
第6種	ボランティア団体	39
第7種	その他社会福祉に関係ある団体 ※港北保護司会は個人会員として加入	32
第8種	社会福祉関係行政機関	12
第9種	学識経験者	2

(2) 会員セミナーの開催

地域福祉活動に有効な講座を、福祉保健研修交流センターウィリング横浜との共催で開催しました。

開催日	内 容	参加者
9月7日	ファシリテーション研修 ※ウィリング横浜と共催 講師 株式会社話し方教育センター 依光朋子氏	35 名 (うち本会会員6名)

(3) 会員向け情報発信

おおむね3カ月に1回、会員向けの情報発信を行いました。

内容: 会員セミナー開催の案内、本会業務推進状況の報告、事業計画・報告、寄付物品配分の案内、施設内ボランティア活動の状況把握アンケートなど

(4) 分科会活動の活性化

分科会活動の活性化を図り、分科会同士のつながり強化に努めました。

- ① 連合自治会町内会分科会

② 民生委員児童委員分科会

③ 地区社会福祉協議会分科会

④ ボランティア・市民活動分科会

⑤ 在宅福祉分科会

⑥ 障害者セーフティネット分科会

⑦ 保育所分科会
- ※Ⅲ－1 掲載

※Ⅴ－3 掲載

※Ⅴ－4 掲載

※Ⅴ－5 掲載

※Ⅴ－6 掲載

2 信頼性の高い組織運営

社会福祉法に基づき、経営組織のガバナンスを強化するとともに、地域福祉の推進を目的とする非営利団体としての認識を深めます。地域に根ざした活動を推進し、また会員相互の連携・協働により公益的な取組みを推進しました。

(1) 理事会 ()は出席者数 ※場所: 港北区福祉保健活動拠点

	開催日	主な内容	結果
1	6月8日 理事(9) 監事(2)	1 令和3年度 事業報告並びに一般会計収入支出 決算について 2 顧問の選任について 3 評議員選任候補者の推薦について 4 評議員選任・解任委員会 委員の選任について 5 評議員選任・解任委員会の招集について 6 定時評議員会の招集について	全て原案 どおり承認

2	10月18日 (新型コロナウイルス感 染防止のため書面審 議【決議の省略】) 理事(11)監事(3)	1 令和4年度 第1回補正予算案について 2 評議員選任候補者の推薦について 3 評議員選任・解任委員会の招集について 4 令和4年度 第2回評議員会の招集について	全て原案 どおり承認
3	3月9日 理事(9)監事(2)	1 令和4年度 第2回補正予算案について 2 令和5年度 事業計画並びに一般会計収入支出 予算案について 3 保有個人データの開示等の請求に関する規程の 一部改正について 4 役員等の賠償責任保険契約締結について 5 評議員選任候補者の推薦について 6 評議員選任・解任委員会の招集について 7 監事候補者の推薦について 8 令和4年度 第3回評議員会の招集について	全て原案 どおり承認

(2)評議員会 ()は出席者数 ※場所:港北区福祉保健活動拠点

	開催日	主な内容	結果
1	6月23日 評議員(16) 会長(1)、副会長(1) 監事(3)	1 令和3年度 事業報告並びに一般会計収入支出 決算について 2 理事の選任について 3 経理規程の一部改定について	全て原案 どおり承認
2	11月4日 (新型コロナウイルス 感染防止のため書面 審議【決議の省略】) 評議員(23)	1 令和4年度 第1回補正予算案について	全て原案 どおり承認
3	3月23日 評議員(17) 会長(1)、副会長(1) 監事(2)	1 令和4年度 第2回補正予算案について 2 令和5年度 事業計画並びに一般会計収入支出 予算案について 3 理事の選任について 4 監事の選任について	全て原案 どおり承認

(3) 監事会 () は出席者数

	開催日	主な内容	結果
1	6月1日 監事(3)	令和3年度 港北区社会福祉協議会事業執行状況、経理状況及び財産状況の監査	正しく適正であると認める

(4) 評議員選任・解任委員会 () は出席者数

	開催日	主な内容	結果
1	6月21日 (新型コロナウイルス感染防止のため書面審議【決議の省略】) 委員(4)	評議員の選任について	原案どおり承認
2	10月25日 (新型コロナウイルス感染防止のため書面審議【決議の省略】) 委員(4)	評議員の選任について	原案どおり承認
3	3月17日 (新型コロナウイルス感染防止のため書面審議【決議の省略】) 委員(4)	評議員の選任について	原案どおり承認

(4) 三役会

実施なし

(5) 委員会・各種会議

- | | |
|--------------------------------|--------|
| ① ボランティアセンター運営委員会 | ※Ⅳ－1掲載 |
| ② 港北区ふれあい助成金審査会・港北区みんなの助成金審査会 | ※Ⅲ－6掲載 |
| ③ 港北区年末たすけあい配分委員会 | |
| ④ 顕彰審査会 | |
| ⑤ 評議員選任・解任委員会 | |
| ⑥ 業者選定委員会 | |
| ⑦ 港北区地域福祉保健計画「ひっとプラン港北」策定・推進会議 | ※Ⅲ－2掲載 |
| ⑧ 移動情報センター推進会議 | ※Ⅱ－3掲載 |

3 ボランティア・市民活動分科会

＜ひっと つながる－１＞

生涯学習や子育て・高齢者支援など、幅広い分野のボランティア・市民活動を行う団体が集まる特色を活かした取組を行いました。分科会会員が主体となり、共通の課題解決や活動活性化のための講座などを行うことで、よりニーズに即した内容とし、活動の充実を図りました。

(1) 定例会の開催 ※場所:港北区福祉保健活動拠点

回	開催日	主な内容
1	4月 15 日 7名	1. 各団体より 2. 令和4年度の活動について (1) ボランティアスキルアップ講座について ふりかえり (2) 年間の開催日程の確認
2	5月 20 日 6名	1. 各団体より 2. 令和4年度の活動について (1) コロナ禍におけるボランティア受入施設の受け入れ基準に関するアンケート調査
3	6月 17 日 7名	1. 各団体より 2. 令和4年度の活動について (1) コロナ禍におけるボランティア受入施設の受け入れ基準に関するアンケート調査
4	7月 15 日 5名	1. 各団体より 2. 令和4年度の活動について (1) コロナ禍におけるボランティア受入施設の受け入れ基準に関するアンケート調査
5	9月 16 日 7名	1. 各団体より 2. 令和4年度の活動について (1) コロナ禍におけるボランティア受入施設の受け入れ基準に関するアンケート調査結果について
6	10月 21 日 5名	1. 各団体より 2. 分科会チラシ(社会福祉大会で配布)を確認しながら情報共有
7	11月 18 日 5名	1. 各団体より 2. 令和4年度の活動について (1) ボランティア・市民活動分科会紹介チラシについて
8	1月 20 日 6名	1. 各団体より 2. 令和4年度の活動について (1) ボランティア・市民活動分科会紹介チラシについて (2) 今後の分科会活動について

9	2月	メールにて情報交換を実施
10	3月17日 6名	1. 各団体より ～1年を終えて感想～ 2. 令和5年度の活動について （1）バルーンアート講座 3. 横浜市社協 福祉ボランティア・市民活動部会メンバーの選出

(2) ボランティアの受け入れ基準に関するアンケート調査の実施

- ・対象: 本会1種会員、5種会員、ボランティアセンター登録団体
- ・調査期間: 8月25日～9月8日
- ・回答率: 39.6% (65/164 施設・団体)
- ・アンケート調査から見てきたこと

施設・団体の受け入れ状況については、「コロナ禍」という影響を大きく受けている状況が読み取れました。また、ボランティアの受け入れ再開に向けて、感染対策の重要性が高いことや感染症の状況を見ながら判断するという意見があるということを再確認できました。

アンケート結果をもとにボランティア・市民活動分科会にてふりかえりを行う中で、「コロナ禍で今までのボランティアとのつながりが切れてしまうのではないか」「感染状況を見ながらの調整が難しい」といった意見に注目し、「短期間の調整で活動できるボランティア団体もある」「つながりをもつため、維持していくためにボランティア団体からも動き出し、つながりを作っていこう」という新しい気づきを共有しました。

(3) 分科会活動および分科会会員紹介チラシの作成

港北区社会福祉大会にてチラシを配布し、分科会会員の活動の紹介をしました。

4 在宅福祉分科会

<ひっと つながるー2>

年齢や障害の有無に関わらず、支援を必要としている人が在宅で安心して暮らしていくために、地域のボランティア団体や福祉施設が連携して、ネットワークづくりを進めました。

「法律や制度に基づいて提供される公的なサービス」と「NPO やボランティア等が行う支援や活動」が連動した地域の中での支えあいの仕組みづくりや、コロナ禍における活動のあり方や運営の工夫などについて共有・検討を行いました。

(1) 構成メンバー

ボランティア団体、高齢者施設、ワーカーズコレクティブ、企業など

(2) 定例会の開催

回	開催日 出席者数	主な内容
1	5月 25 日 6名	・アフターコロナを見据えた活動・事業等の再開について
2	11月 【書面開催】	・分科会員向けアンケートの実施および回答結果の共有
3	3月 22 日 5名	・各団体より近況報告(R4年度ふりかえり、次年度の計画など) ・令和5年度 在宅福祉分科会の取組について

※7・9月・1月は中止

5 障害者セーフティネット分科会

<ひっと つながるー1>

障害の有無に関わらず、支援を必要としている人が地域で安心して暮らすためのネットワークづくりを進めてきました。また、港北区地域自立支援協議会とともに、障害理解啓発に取り組みました。

(1) 役員会

※場所:港北区福祉保健活動拠点

回	開催日 出席者数	主な内容
1	4月 15 日 7名	・令和3年度の活動について振り返り ・令和4年度の活動について意見交換
2	6月 17 日 7名	・令和4年度の事業計画について(事業計画確定)
3	8月 19 日 5名	・映画会の内容について ・手話講座の内容について ・リーフレット「災害と私たち」の改訂に向けた意見交換
4	10月 21 日 7名	・映画会の内容について ・警察との情報交換会の内容について
5	12月 16 日 7名	・第1回手話講座振り返り ・映画会と警察との情報交換会の内容について ・リーフレット「災害と私たち」の改訂に向けた意見交換
6	2月 17 日 7名	・令和4年度の活動について振り返り ・令和5年度の活動について意見交換

(2) 定例会の開催 ※場所:港北区福祉保健活動拠点

回	開催日 出席者数	主な内容
1	5月 20 日 12 名	・活動発表会「NPO 法人いろえんぴつ心理福祉コミュニティズ」 ・勉強会「港北区地域自立支援協議会について」 ・令和4年度の活動について意見交換
2	7月 15 日 14 名	・活動発表会「こことも」 ・勉強会「水害と福祉避難所について」
3	9月 16 日 13 名	・活動発表会「NPO 法人地域で生きる障がい者を支える会」 ・警察との情報交換会に向けた意見交換 ・リーフレット「災害と私たち」の改訂に向けた意見交換
4	11 月 18 日 12 名	・活動発表会「光る波」 ・映画会鑑賞後アンケートの内容について意見交換
5	1月 20 日 15 名	・活動発表会「さくらんぼの会」 ・警察との情報交換会
6	3月 17 日 15 名	・活動発表会「白梅会」 ・令和4年度の活動について(振り返り) ・令和5年度の活動について(意見交換)

(3) 講座の開催

①手話講座はじめの一步

第1回:11月 27 日 参加者 15 名 第2回:2月 26 日 参加者 12 名

場所 港北区福祉保健活動拠点 多目的研修室

内容 手話に初めてふれる方向けの手話講座、区内手話サークルの紹介

②映画「だってしょうがないじゃない」上映会

12月 18 日 来場者 111 名

場所 港北公会堂

内容 障害理解啓発に関する映画の上映、区内作業所製品の販売

※港北区地域自立支援協議会と共催

6 保育所分科会

＜ひっと ひろがる－２＞

公立・私立保育所の枠を超えたネットワークを活かして、区内の子育てをめぐる様々な課題の共有・解決の場としました。また、地域組織や団体と連携して子育てを考える機会を設けるとともに、分科会参画団体の拡充を図りました。また、令和4年度は、3年ぶりの子育て支援団体との交流会をオンラインにて実施しました。

(1) 役員会 ※場所: 港北区福祉保健活動拠点

回	開催日	主な内容
1	5月13日 5名	5月定例会の流れについて、9・11月の定例会の内容について確認
2	7月8日 5名	7月定例会の流れについて、9・11月定例会の内容について確認
3	9月9日 4名	9月定例会の流れについて、11月定例会の内容について確認
4	11月11日 5名	11月定例会の流れについて、1月定例会の内容について確認
5	1月13日 4名	1月定例会の流れについて、3月定例会の内容について確認
6	3月10日 4名	3月定例会の流れについて、令和5年度事業計画についての確認

※7月・3月のみオンライン・来所の併用開催

(2) 定例会 ※場所: 港北区福祉保健活動拠点 ※7月、3月はオンラインと集合型の併用

回	開催日	主な内容
1	5月13日 15名	令和4年度事業計画の確認 保育園でのコロナ対策など情報交換
2	7月8日 18名	保育園での活動内容や実施方法についてなど情報交換
3	9月9日 24名	ZOOM ホストについての研修
4	11月11日 24名	地域子育て支援団体との交流会
5	1月13日 16名	防災についての研修
6	3月10日 18名	令和4年度振り返り、令和5年度の事業計画について、役員選出について

(3)【中止】区内小規模保育園との交流会の開催

(4)区内子育て支援団体との交流会(11月11日 定例会にてオンライン開催)

地域ケアプラザを含めた区内の子育て支援団体がオンラインで集まり、コロナ禍の活動状況を報告後、意見交換会を実施しました。

(5)【中止】「わくわく子育て広場」への支援

7 苦情解決システムの充実

住民が意見・要望を言いやすい環境をつくるとともに、苦情を貴重なニーズとして真摯に受け止め、本会の事業推進やサービスの質の向上に努めました。

また、窓口満足度調査の実施や「ご意見箱」の運用により、意見・要望などを聴取し、環境整備や業務改善を進めました。

① 窓口満足度調査の実施(11月1日～30日 回答数30件)

満足度 79.99%

内容 拠点における職員の対応について

② ご意見箱(年間／件数:0件)

③ 苦情受付件数(年間／件数:0件)

8 コンプライアンス・リスクマネジメントの推進

コンプライアンスの推進とリスクマネジメントを職員間で徹底するとともに、事故発生時の基本的な対応を見直し徹底しました。また、日常業務でヒヤリハットの報告および事故の原因と改善策について共有を行いました。

(1)職員会議や日常業務でヒヤリハット・事故内容と改善策を共有(朝・タミーティングの活用)

(2)外部研修・会議への参加(2回)

(3)自主防災訓練(年2回)

9 多様な働き方の推進

働き方改革や災害および感染症などに対応する新たな生活様式の実践と日常業務の効率化を図りました。ICT の整備および活用により在宅勤務を行い、勤務時間をシフトさせることにより職場内の密となる状況を回避するなど、多様な働き方を推進しました。

(1) 職場内ネットワークによる情報共有
グループウェアやクラウドファイル共有などの活用

(2) 在宅勤務の推進
在宅勤務においては、事前事後の報告を徹底する他、成果物や研修報告書、資料読み込みのレポートなどの共有も行いました。また、工夫した点や改善策などの提案も共有し効率化を図りました。さらに、在宅勤務でも外部と連絡がとれるよう、職場の携帯電話の持ち帰りや、グループウェアやクラウドファイルなどを利用した職場とのやり取りなども取り入れました。

年間実施日数 29 日(平均 2.4 日/月)

(3) 時差出勤、土曜勤務へのシフト
職場内における職員の分散勤務、密の回避を目的として対応しました。
① 時差 A(勤務時間を1時間前倒し)、時差 B(勤務時間を1時間後ろ倒し)
② 1-9 勤務(12 時 45 分～21 時 15 分)
③ 平日を土日勤務にシフト

10 情報公開・個人情報保護制度の運用

社会福祉法の理念に基づき、本会の情報公開制度を適切に利用しながら、透明性・信頼性の高い事業運営を行いました。あわせて個人情報保護に関する研修を実施し、意識啓発と個人情報の保護に努めました。

11 財政運営の適正化

本会活動を進めていくため、賛助会費など自主財源の安定的な確保と財政運営の適正化に努めます。また、広報紙やホームページなどを通じ、本会活動や事業、会費などの活用について広く発信しました。

種別	正会費	世帯会費	賛助会費
会費(円)	1,210,800	4,309,090	17,070,500

1 2 職員の育成

横浜市社協人材育成計画に沿って常勤・非常勤を含め、内部研修や外部研修を活用し必要な知識・技術の研鑽に努め、職員の専門性を高めました。さらに目標管理や人事考課制度を活用して、職員が立場と組織目標を認識して業務に取り組みました。また、社会福祉士相談援助実習の受入れを行い福祉人材の育成に寄与しました。

外部研修〔全社協・県社協主催のみ〕(開催日数)	参加者(名)
社会福祉協議会 新任職員研修会・フォローアップ研修	1
生活福祉資金新任担当者・相談員研修会	1
総合相談・生活支援事例検討会	1

1 3 法人運営・経理事務の効率化

インターネットバンキングやスケジュール管理など IT の活用により、法人運営および経理事務の効率化を図りました。

- (1) インターネットバンキングの活用(月2回)
- (2) グループウェアの活用およびスケジュール管理の効率化
- (3) 出納日の固定化、出納事務の省力化
- (4) 管理データの整理

1 4 団体事務

福祉関係団体の事務局として、各団体の自主的な活動を支援するとともに、相互の連携により、地域福祉を推進しました。

- (1) 神奈川県共同募金会横浜市港北区支会
- (2) 日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部港北区地区委員会

(3) 港北区更生保護女性会

(4) 港北区遺族会

(5) 港北区「社会を明るくする運動」実施委員会

令和4年度善意銀行 預託金品状況

【金銭】

	預託日	寄付者	内容
1	4月19日	匿名団体	4,600
2	4月20日	匿名個人	5,000
3	5月19日	匿名団体	2,792
4	5月20日	匿名個人	5,000
5	6月20日	匿名個人	5,000
6	7月7日	ユニー株式会社 アピタ横浜綱島店	51,542
7	7月15日	匿名個人	10,000
8	7月20日	匿名個人	5,000
9	7月21日	イトーヨーカドー労働組合綱島支部	9,000
10	8月19日	匿名個人	5,000
11	8月30日	新都山流 神奈川県支部	17,183
12	9月20日	匿名個人	5,000
13	10月20日	匿名個人	5,000
14	10月24日	港北邦楽協会	14,841
15	11月7日	港北芸能協会	20,546
16	11月10日	PCぱれっと	10,750
17	11月22日	匿名個人	5,000
18	12月6日	港北三曲会	21,000
19	12月8日	匿名個人	50,000
20	12月8日	富田 淑子	10,000
21	12月20日	イトーヨーカドー労働組合綱島支部	8,500
22	12月20日	匿名個人	5,000
23	12月23日	フラ港北レファ	10,000
24	12月23日	匿名個人	10,000
25	12月26日	リーダー電子株式会社	150,000
26	12月27日	匿名個人	100,000
27	1月20日	匿名個人	5,000
28	1月30日	東京地方税理士会 神奈川支部	383,477
29	2月1日	横浜市港北区仏教会	50,000
30	2月1日	匿名個人	5,000
31	2月20日	匿名個人	5,000
32	3月3日	新横浜ロータリークラブ	30,000
33	3月21日	匿名個人	5,000
34	3月22日	中沢 文明	50,000
35	3月31日	横浜アリーナ	53,175
		合計	1,132,406

令和4年度善意銀行 預託金品状況

【物品】

	預託日	寄付者	内容
1	4月22日	匿名団体	食品
2	5月16日	匿名個人	紙パッド 介護用おむつ 衣類
3	6月9日	MS&ADビジネスサポート株式会社 駿河台事業部	新品額縁
4	6月24日	匿名団体	介護用おむつ
5	7月25日	匿名個人	紙パット、トイレット ペーパー
6	7月28日	匿名個人	ポータブルトイレ
7	7月27日	匿名団体	布類
8	7月29日	匿名個人	生理用品
9	8月10日	株式会社天七	子供衣類
10	9月15日	川合 孝二	A2 中性紙
11	9月21日	匿名個人	食品
12	9月28日	匿名個人	介護用おむつ
13	10月31日	匿名個人	介護用おむつ 紙パッド
14	11月1日	一般財団法人ポケモン・ウィズ・ユー財団	ペーパークラフト・色鉛筆セット
15	11月26日	慶応義塾大学商学部総合教育セミナー「地域との対話」	食品
16	12月8日	富田 淑子	食品
17	12月23日	株式会社セレスポ横浜支店	卓上カレンダー
18	12月27日	藤木 豊乃	米10Kg
19	1月12日	イエナオプティックジャパン株式会社	筆記用具
20	1月17日	匿名個人	子ども用玩具 (ブロック)
21	1月20日	匿名個人	肌着、タオル、 靴下、手袋など
22	2月22日	クリアワークス横浜 矢崎智之	缶ジュース 4ケース
23	2月24日	匿名個人	お菓子
24	2月24日	匿名個人	タオル8個

令和4年度 港北区ふれあい助成金・港北区みんなの助成金 配分団体一覧表

助成区分	小区分	番号	団体名	助成申込金額
要援護者支援	集いの場	1001	大曾根男の料理教室	80,000
要援護者支援	集いの場	1002	まちの縁側そよご	45,000
要援護者支援	集いの場	1003	太尾っ子広場	80,000
要援護者支援	集いの場	1004	宮前交流カフェプロジェクト	80,000
要援護者支援	集いの場	1005	菊名南町ボランティアひな菊	80,000
要援護者支援	集いの場	1006	おれんじの会	400,000
要援護者支援	集いの場	1007	さつきクラブ	80,000
要援護者支援	配食	1008	配食よつ葉会	80,000
要援護者支援	集いの場	1009	おおそねちびサロン	50,000
要援護者支援	集いの場	1010	新田クラブ	120,000
要援護者支援	集いの場	1011	かもめのつどい	80,000
要援護者支援	集いの場	1012	WAIWAIみんなの箕輪クラブ	40,000
要援護者支援	集いの場	1013	折り紙を楽しむ会	30,000
要援護者支援	集いの場	1014	フリースペースほっぷ	80,000
要援護者支援	集いの場	1015	いこいの会	80,000
要援護者支援	集いの場	1016	宮前赤ちゃん会2	60,000
要援護者支援	集いの場	1017	篠原台町みどりの会	80,000
要援護者支援	家事・生活支援	1018	太尾ふれあいクラブ	160,000
要援護者支援	集いの場	1019	サロン・コンフォール南日吉	80,000
要援護者支援	集いの場	1020	師岡こども学習会	80,000
要援護者支援	集いの場	1021	わだねの会	80,000
要援護者支援	集いの場	1022	元気な笑顔	80,000
要援護者支援	集いの場	1023	コーヒーサロン わいわい城郷	120,000
要援護者支援	配食	1024	水曜ランチ ホツとカフェ	300,000
要援護者支援	家事・生活支援	1025	ほっと新吉田	160,000
要援護者支援	配食	1026	綱島東ボランティア	80,000
要援護者支援	集いの場	1027	特定非営利活動法人ポケット	80,000
要援護者支援	送迎	1028	コミバス市民の会	300,000
要援護者支援	集いの場	1029	サロンこもれび	50,000
要援護者支援	集いの場	1030	ちびたる	180,000
要援護者支援	集いの場	1031	りんどうの会	80,000
要援護者支援	集いの場	1032	ハッピーママ	80,000
要援護者支援	集いの場	1033	スリーA教室元気！！	40,000
要援護者支援	集いの場	1034	あったかだ	80,000
要援護者支援	集いの場	1035	かもみいる運営委員会	80,000
要援護者支援	集いの場	1036	コーヒーボランティアらんらん	65,000
要援護者支援	集いの場	1037	ミニ樽サロン運営委員会	80,000
要援護者支援	集いの場	1038	篠原東福祉部いこいの集い	80,000
要援護者支援	集いの場	1039	子育てサロンはひふへほ	120,000
要援護者支援	集いの場	1040	みんなの広場	50,000
要援護者支援	集いの場	1041	仲手原南ボランティア夢クラブ	60,000
要援護者支援	配食	1042	やまびこの会	120,000
要援護者支援	集いの場	1043	ふらっと高田	400,000
要援護者支援	集いの場	1044	ベビそね	80,000

助成区分	小区分	番号	団体名	助成申込金額
要援護者支援	送迎	1045	移動サービスワーカーズコレクティブ らら・むーぶ港北	350,000
要援護者支援	集いの場	1046	楽々フット	80,000
要援護者支援	集いの場	1047	ほのぼ～の	40,000
要援護者支援	集いの場	1048	城郷ひろば	120,000
要援護者支援	集いの場	1049	太尾フレンドサロン・いこい	50,000
要援護者支援	集いの場	1050	篠原北地区民生委員児童委員協議会	80,000
要援護者支援	集いの場	1051	プラザ城郷	70,000
要援護者支援	集いの場	1052	レコードミュージックブラザ	80,000
要援護者支援	集いの場	1053	おおきくなあれ	180,000
要援護者支援	集いの場	1054	城郷地区「子供の居場所」実行委員会(たまりBAこづくえ)	80,000
要援護者支援	集いの場	1055	特定非営利活動法人横浜子育て支援グループぼっけ	80,000
要援護者支援	集いの場	1056	新横浜民児協かもねくらぶ	80,000
要援護者支援	集いの場	1057	大豆戸民児協まめのきひろば	80,000
要援護者支援	集いの場	1058	すみれのびのび体操	60,000
要援護者支援	集いの場	1059	こんぺいとうさん	80,000
要援護者支援	集いの場	1060	コミュニティスペース港北うえるびーサロンW.Co路	80,000
要援護者支援	集いの場	1061	なごみの会	80,000
要援護者支援	配食	1062	綱島西ボランティアグループ	80,000
要援護者支援	集いの場	1063	みんなの広場	50,000
要援護者支援	集いの場	1064	みちくさの会	80,000
要援護者支援	集いの場	1065	こどものへや文庫	80,000
要援護者支援	集いの場	1066	青少年育成支援の会	20,000
要援護者支援	集いの場	1067	子育て支援グループ まーぶる	80,000
要援護者支援	集いの場	1068	学びのサロンとりやまアカデミア	80,000
要援護者支援	集いの場	1069	おはなし、な～に？	50,000
要援護者支援	集いの場	1070	チームおいもほり	80,000
要援護者支援	集いの場	1071	キッチンいこい	50,000
要援護者支援	集いの場	1072	花しょうぶ	70,000
要援護者支援	集いの場	1073	ボランティア下田	80,000
要援護者支援	集いの場	1074	綱島地区「ふれあいサロン」	20,000
要援護者支援	集いの場	1075	あやめの会	80,000
要援護者支援	集いの場	1076	おしゃべりサロン	60,000
要援護者支援	集いの場	1077	大倉山地区社会福祉協議会	300,000
要援護者支援	集いの場	1078	なごみ会	6,502
要援護者支援	家事・生活支援	1079	港北・家事介護ワーカーズコレクティブ「いずみ」	400,000
要援護者支援	集いの場	1080	風と子どもたち	80,000
要援護者支援	集いの場	1081	菊名の居場所あったか	300,000
要援護者支援	集いの場	1082	精神保健福祉ボランティアGそら・俳句仲間道灯かり(略称・道灯かり)	80,000
要援護者支援	集いの場	1083	SOW	300,000
要援護者支援	家事・生活支援	1084	城郷ふれあいの会	300,000
要援護者支援	集いの場	1085	クローバー会(クローバーカフェ)	40,000
要援護者支援	集いの場	1086	下田子育て応援会	80,000
要援護者支援	集いの場	1087	カラダづくりサロン鳥山健康大学	80,000
要援護者支援	集いの場	1088	郷づくり濱なかま	80,000
要援護者支援	集いの場	1089	お話し聴くとも会	80,000

助成区分	小区分	番号	団体名	助成申込金額
要援護者支援	集いの場	1090	「ダンラン」男同志の昼食会	80,000
要援護者支援	集いの場	1091	樽町なごみ食堂	80,000
要援護者支援	集いの場	1092	子育てサロンたんぼぼにつば	80,000
要援護者支援	集いの場	1093	ひなたぼっこ	40,000
要援護者支援	集いの場	1094	熊野の森もろおかスタイル	120,000
要援護者支援	集いの場	1095	子育て支援W.Co monami	400,000
要援護者支援	集いの場	1096	子育てサロン「よしだっこ」	120,000
要援護者支援	集いの場	1097	ミニデイサービスお茶の間	50,000
要援護者支援	集いの場	1098	ダブルケアカフェ「どんぐりの木」	40,000
要援護者支援	集いの場	1099	はなみずき会サロン	50,000
要援護者支援	集いの場	1100	子育てサロン「このゆびと～まれ！」	30,000
要援護者支援	集いの場	1101	港北ユーステابل	80,000
要援護者支援	集いの場	1102	スリーAにつばっぱ	40,000
要援護者支援	集いの場	1103	クローバーカフェKIKUNA	40,000
要援護者支援	集いの場	1104	大豆戸町内会 茶処ま～め～ど	40,000
要援護者支援 集計				10,756,502
障害児者支援	障害児者支援	2001	書葉会	60,000
障害児者支援	当事者活動	2002	音楽療法横浜グループ	60,000
障害児者支援	当事者活動	2003	横浜ドリーマーマーメイド	100,000
障害児者支援	当事者活動	2004	グループペンギンA	60,000
障害児者支援	障害児者支援	2005	障がい児者のよりどころ ふれんど	60,000
障害児者支援	当事者活動	2006	ドリーマ・サンワテニスクラブ	60,000
障害児者支援	当事者活動	2007	スイミー	100,000
障害児者支援	当事者活動	2008	横浜ドリーマーアーチェリークラブ	60,000
障害児者支援	障害児者支援	2009	親子クラス虹の橋	150,000
障害児者支援	視聴覚障害者支援	2010	拡大写本グループ赤いくつ	20,000
障害児者支援	障害児者支援	2011	白梅会	100,000
障害児者支援	障害児者支援	2012	ウォーターボーイズ	160,000
障害児者支援	障害児者支援	2013	おひさまっ子の会水泳部	100,000
障害児者支援	障害児者支援	2014	YOKOHAMA Bay Dream P.S.C	100,000
障害児者支援	視聴覚障害者支援	2015	港北録音グループ	50,000
障害児者支援	障害児者支援	2016	ダンスワークかれん	60,000
障害児者支援	障害児者支援	2017	声を楽しむ声楽教室	150,000
障害児者支援	当事者活動	2018	しらゆり会	60,000
障害児者支援	当事者活動	2019	横浜ボッチャーズ	40,000
障害児者支援	障害児者支援	2020	フリッパ－の会	100,000
障害児者支援	当事者活動	2021	ラポール卓友会	150,000
障害児者支援	障害児者支援	2022	横浜いるかスイミングクラブ	60,000
障害児者支援	障害児者支援	2023	めだか会	130,000
障害児者支援	当事者活動	2024	横浜ショートテニスクラブ	120,000
障害児者支援	当事者活動	2025	横浜ボッチャ倶楽部	60,000
障害児者支援	当事者活動	2026	横浜ドリーマーフライングディスククラブ	60,000
障害児者支援	障害児者支援	2027	水泳同好会サッシュ	60,000
障害児者支援	当事者活動	2028	横浜北部失語症友の会	60,000
障害児者支援	障害児者支援	2029	横濱やくどう	100,000

助成区分	小区分	番号	団体名	助成申込金額
障害児者支援	障害児者支援	2030	光る波(シュタイナーを学び障がいを考える会)	60,000
障害児者支援	当事者活動	2031	横浜レインボー	100,000
障害児者支援	当事者活動	2032	ピアサポート・L	60,000
障害児者支援	障害児者支援	2034	ヒップホップダンスクラブ	100,000
障害児者支援	障害児者支援	2035	ABM	150,000
障害児者支援	視聴覚障害者支援	2036	港北区手話サークルあじさいの会	50,000
障害児者支援	障害児者支援	2037	こどものためのハチャメチャアトリエ	60,000
障害児者支援	障害児者支援	2038	横浜ひよこ教室 幼児部	150,000
障害児者支援	障害児者支援	2039	グループペンギンB	99,000
障害児者支援	当事者活動	2040	横浜レッドブリックス	60,000
障害児者支援	当事者活動	2041	ラポール倶楽部花みずき	70,000
障害児者支援	当事者活動	2042	高田パソコンクラブ	40,000
障害児者支援	当事者活動	2043	リンデンーカフェ杜ー	60,000
障害児者支援	障害児者支援	2044	ふれあい・こんさ〜と	10,000
障害児者支援	当事者活動	2045	横浜レジェンド	40,000
障害児者支援	当事者活動	2046	ツインバスケットボールを楽しむ会	150,000
障害児者支援	障害児者支援	2047	ラポールFC	60,000
障害児者支援	当事者活動	2048	ディスククレイジー	40,000
障害児者支援	当事者活動	2049	さくらんぼの会	40,000
障害児者支援	障害児者支援	2050	はっぴいかいと	40,000
障害児者支援	視聴覚障害者支援	2051	横浜市中途失聴・難聴者協会	4,000
障害児者支援	視聴覚障害者支援	2052	港北区視覚障害者福祉協会	50,000
障害児者支援	当事者活動	2053	横浜ドリーマーレクリエーションクラブ	200,000
障害児者支援 集計				4,143,000
福祉のまちづくり	-	3001	ふれあい歌声の会	40,000
福祉のまちづくり	-	3002	特定非営利活動法人 青少年育成開発協会	40,000
福祉のまちづくり	-	3004	港北おはなし会	40,000
福祉のまちづくり	-	3005	公園遊びの会わくわく	40,000
福祉のまちづくり	-	3006	横浜港北おもちゃドクターの会	40,000
福祉のまちづくり	-	3007	公園遊びの会おるたん	40,000
福祉のまちづくり	-	3008	ツチノコネット	30,000
福祉のまちづくり	-	3009	大倉山支えあい祭り実行委員会	30,000
福祉のまちづくり	-	3010	ドルチェ	40,000
福祉のまちづくり	-	3011	日吉キッズステーション	40,000
福祉のまちづくり	-	3012	ポコ・ア・ポコ	40,000
福祉のまちづくり	-	3013	NPO法人日吉子育て応援団	40,000
福祉のまちづくり	-	3014	アトリエつくろ	15,000
福祉のまちづくり	-	3015	おはなしキラキラぼっけ	40,000
福祉のまちづくり	-	3016	ハンディを持つ人のためのミニフォーラム「咲良」	30,000
福祉のまちづくり	-	3017	きたつなぶどうの会	20,000
福祉のまちづくり	-	3018	きくなびょんびょん	40,000
福祉のまちづくり	-	3019	ハロークラブ	30,000
福祉のまちづくり	-	3020	おひさまたんけんたい	40,000
福祉のまちづくり	-	3021	ぞうさんの帽子	40,000
福祉のまちづくり	-	3022	Tomodachi Club(港北くみんの会)	30,000

助成区分	小区分	番号	団体名	助成申込金額
福祉のまちづくり	-	3023	特定非営利活動法人 精神保健を考える会まいんどくらぶ	30,000
福祉のまちづくり	-	3024	子どもの居場所を考える会	30,000
福祉のまちづくり	-	3025	(任意団体)海街	40,000
福祉のまちづくり	-	3026	ボランティア「ねこばす」グループ	10,000
福祉のまちづくり	-	3027	日吉に子育てに関するネットワークを作る会	20,000
福祉のまちづくり	-	3028	港北文庫のつどい	30,000
福祉のまちづくり	-	3029	泉の輪	40,000
福祉のまちづくり	-	3030	下田farmers	40,000
福祉のまちづくり	-	3031	音楽ボランティア ヴォーカルアンサンブルフルール	40,000
福祉のまちづくり	-	3032	ちびっこ探検隊	40,000
福祉のまちづくり	-	3033	コールシュテルンC	40,000
福祉のまちづくり 集計				1,105,000
健康増進	高齢者の健康増進事業	4001	シルバー健康体操宮前教室	10,000
健康増進	高齢者の健康増進事業	4002	粋な男の体操サークル	10,000
健康増進	高齢者の健康増進事業	4003	おまめアップチーム	10,000
健康増進	高齢者の健康増進事業	4004	ウォーキングくらぶ たんぽぽ	10,000
健康増進	高齢者の健康増進事業	4005	本町なでしこ会	10,000
健康増進	高齢者の健康増進事業	4006	ふきのとう	10,000
健康増進	施設等を訪問する特技ボランティア	4007	カラフルチューン	10,000
健康増進	高齢者の健康増進事業	4008	伸び伸びスターズ	10,000
健康増進	高齢者の健康増進事業	4009	月曜サロン	10,000
健康増進	高齢者の健康増進事業	4010	新羽シニアストレッチ	10,000
健康増進 集計				100,000
港北区ふれあい助成金 合計				16,104,502
イベント		5001	港北区教育懇談会	200,000
イベント		5002	新吉田地区ふれあい動物園実行委員会	200,000
イベント		5003	梅の丘公園ミュージックFES実行委員会	200,000
イベント		5004	大倉山夢まちづくり実行委員会	200,000
イベント 集計				800,000
先駆的・重点的		6001	特定非営利活動法人Happiness	200,000
先駆的・重点的		6002	ここみて港北	500,000
先駆的・重点的 集計				700,000
居場所		7001	高田コミュニティカフェ ゆずの樹	500,000
居場所		7002	もろおか里山倶楽部	500,000
居場所 集計				1,000,000
地区別計画推進		8001	「ひとつプラン港北」綱島地区計画推進委員会	100,000
地区別計画推進		8002	ハートフル大曽根	50,000
地区別計画推進		8003	たすけあうまち城郷推進委員会	90,000
地区別計画推進		8004	光と活力活動発表会実行委員会	100,000
地区別計画推進		8005	大倉山地区社会福祉協議会(地域福祉保健計画推進委員会)	100,000
地区別計画推進		8006	樽町地区推進委員会	100,000
地区別計画推進		8007	新羽町健康づくり部会	70,000
地区別計画推進		8008	菊名地区ひとつプラン推進委員会	70,000
地区別計画推進 集計				680,000
港北区みんなの助成金 合計				3,180,000

令和4年度 港北区社会福祉協議会決算概要

令和4年度決算は、収入総額1億6,366万8,647円、支出総額1億690万8,316円となり、収支差額（支払資金残高）は5,676万331円となりました。事業活動による収支差額は△224万7,783円、施設整備等による収支が△54万8,900円となり、当期資金収支差額（小計）は△279万6,683円でした。令和3年度と比較し、収入が647万円強減となっていますが、主な原因は受託金収入（生活福祉資金貸付業務委託費特例貸付分）の減少によるものです。

収入支出の内訳は、賛助会費、共同募金配分金、寄付金が収入の50.8%、対する支出の48.2%を助成金が占め地区社協をはじめとする地域福祉活動の貴重な財源となっています。

また、光熱水費、消耗品などの値上げによる支出増はありますが、まだ、大きな影響はありません。

資金収支計算書抜粋

（単位：円）

	収入①	支出②	収支差額③＝①－②
事業活動による収支	104,111,633	106,359,416	△ 2,247,783
施設整備等による収支	0	548,900	△ 548,900
その他の活動による収支	0	0	0
当期資金収支差額（小計）	104,111,633	106,908,316	△ 2,796,683
前期支払資金残高	59,557,014	—	59,557,014
合 計	163,668,647	106,908,316	56,760,331

A 収入の内訳

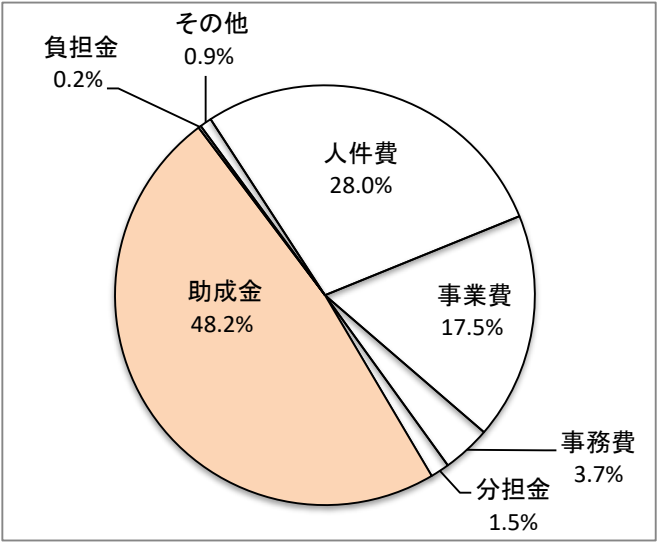
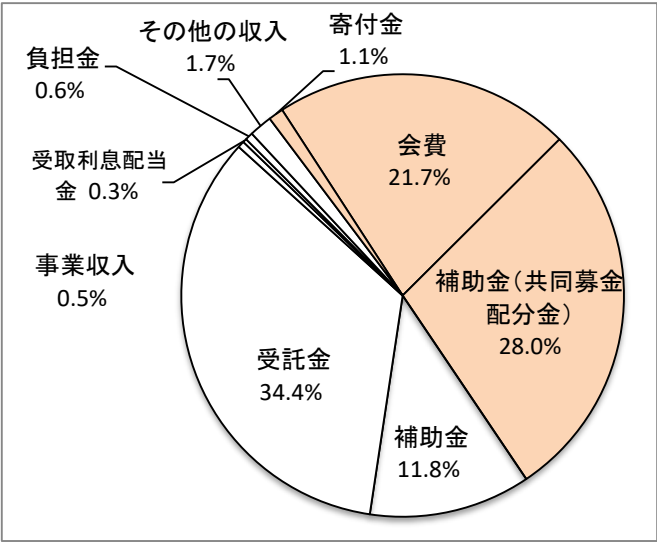
（単位：円）

会費収入	22,590,390
寄付金収入	1,132,406
経常経費補助金収入	41,479,585
受託金収入	35,763,701
事業収入	505,190
負担金収入	598,810
受取利息配当金収入	292,560
その他の収入	1,748,991
合 計	104,111,633

B 支出の内訳

（単位：円）

人件費支出	29,804,713
事業費支出	18,572,667
事務費支出	3,965,781
分担金支出	1,555,368
助成金支出	51,273,042
負担金支出	221,000
その他の支出	966,845
合 計	106,359,416



法人：社会福祉法人 横浜市港北区社会福祉協議会
事業：社会福祉事業
拠点：法人運営及び区社協実施事業

資金収支計算書総括表
(自) 令和4年04月01日
(至) 令和5年03月31日

(単位：円)													
サービス区分	事業活動による収支			施設整備等による収支			その他の活動による収支			予備費支出(10)	当期資金収支差額合計(11) =(3)+(6)+(9)-(10)	前期末支払資金残高(12)	当期末支払資金残高(11)+(12)
	事業活動収入計(1)	事業活動支出計(2)	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	施設整備等収入計(4)	施設整備等支出計(5)	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	その他の活動収入計(7)	その他の活動支出計(8)	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)				
法人運営	33,263,584	18,351,446	14,912,138	0	548,900	△548,900	2,038,784	16,383,436	△14,344,652	0	18,586	23,658,091	23,676,677
ボランティアセンター事業	76,400	468,406	△392,006	0	0	0	71,555	0	71,555	0	△320,451	1,662,310	1,341,859
地区社協活動支援事業	650,000	15,335,500	△14,685,500	0	0	0	14,685,500	0	14,685,500	0	0	0	0
福祉保健活動拠点運営	17,077,690	16,665,173	412,517	0	0	0	0	0	0	0	412,517	282,123	694,640
共同募金配分事業	29,688,204	29,149,871	538,333	0	0	0	200,680	200,680	0	0	538,333	16,575,572	17,113,905
善意銀行運営	1,132,406	0	1,132,406	0	0	0	0	799,555	△799,555	0	332,851	12,918,268	13,251,119
送迎サービス事業	1,223,364	1,223,364	0	0	0	0	730,560	2,614,674	△1,884,114	0	△1,884,114	1,884,114	0
移動情報センター事業	9,799,534	12,393,549	△2,594,015	0	0	0	501,503	0	501,503	0	△2,092,512	2,113,764	21,252
権利擁護事業	579,190	673,643	△94,453	0	0	0	0	0	0	0	△94,453	170,212	75,759
地域福祉推進事業	512,000	552,047	△40,047	0	0	0	40,047	0	40,047	0	0	0	0
みんなの助成金配分事業	9,816,701	11,546,417	△1,729,716	0	0	0	1,729,716	0	1,729,716	0	0	0	0
福祉基金	292,560	0	292,560	0	0	0	0	0	0	0	292,560	292,560	585,120
合 計	104,111,633	106,359,416	△2,247,783	0	548,900	△548,900	19,998,345	19,998,345	0	0	△2,796,683	59,557,014	56,760,331

法人単位資金収支計算書
(自)令和4年04月01日 (至)令和5年03月31日

法人：社会福祉法人 横浜市港北区社会福祉協議会
事業：法人全体

1 / 1
(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A-B)	備考
事業活動による収支	収入				
	会費収入	21,457,000	22,590,390	△1,133,390	
	寄附金収入	1,300,000	1,132,406	167,594	
	経常経費補助金収入	44,311,000	41,479,585	2,831,415	
	受託金収入	30,227,000	35,763,701	△5,536,701	
	事業収入	548,000	505,190	42,810	
	負担金収入	700,000	598,810	101,190	
	受取利息配当金収入	315,000	292,560	22,440	
	その他の収入	80,000	1,748,991	△1,668,991	
	事業活動収入計(1)	98,938,000	104,111,633	△5,173,633	
	支出				
	人件費支出	25,199,000	29,804,713	△4,605,713	
	事業費支出	20,784,000	18,572,667	2,211,333	
施設整備等による収支	事務費支出	7,064,000	3,965,781	3,098,219	
	分担金支出	510,000	1,555,368	△1,045,368	
	助成金支出	55,006,000	51,273,042	3,732,958	
	負担金支出	521,000	221,000	300,000	
	その他の支出	0	966,845	△966,845	
	事業活動支出計(2)	109,084,000	106,359,416	2,724,584	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△10,146,000	△2,247,783	△7,898,217	
	収入				
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	支出				
	固定資産取得支出	0	548,900	△548,900	
	施設整備等支出計(5)	0	548,900	△548,900	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	△548,900	548,900	
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計(7)	0	0	0	
	支出				
	その他の活動支出計(8)	0	0	0	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	0	0	
予備費支出(10)		57,975,000	-	57,975,000	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		△68,121,000	△2,796,683	△65,324,317	
前期末支払資金残高(12)		68,121,000	59,557,014	8,563,986	
当期末支払資金残高(11)+(12)		0	56,760,331	△56,760,331	

法人単位事業活動計算書

(自)令和4年04月01日 (至)令和5年03月31日

法人：社会福祉法人 横浜市港北区社会福祉協議会
事業：法人全体

1 / 1
(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	会費収益	22,590,390	22,640,934	△50,544
	寄附金収益	1,132,406	1,248,386	△115,980
	経常経費補助金収益	41,479,585	41,401,246	78,339
	受託金収益	35,763,701	40,874,507	△5,110,806
	事業収益	505,190	511,350	△6,160
	負担金収益	598,810	602,292	△3,482
	サービス活動収益計(1)	102,070,082	107,278,715	△5,208,633
	費用			
	人件費	29,804,713	30,505,804	△701,091
	事業費	18,572,667	21,694,164	△3,121,497
	事務費	3,965,781	5,452,288	△1,486,507
	分担金費用	1,555,368	1,160,170	395,198
	助成金費用	51,273,042	52,720,281	△1,447,239
	負担金費用	221,000	521,000	△300,000
サービス活動外増減の部	減価償却費	867,768	722,689	145,079
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△46,000	△46,000	0
	サービス活動費用計(2)	106,214,339	112,730,396	△6,516,057
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△4,144,257	△5,451,681	1,307,424
	収益			
	受取利息配当金収益	292,560	292,560	0
	その他のサービス活動外収益	1,748,991	3,012,123	△1,263,132
	サービス活動外収益計(4)	2,041,551	3,304,683	△1,263,132
	費用			
	その他のサービス活動外費用	966,845	0	966,845
	サービス活動外費用計(5)	966,845	0	966,845
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,074,706	3,304,683	△2,229,977
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	△3,069,551	△2,146,998	△922,553
	特別増減の部			
	収益			
	特別収益計(8)	0	0	0
	費用			
	固定資産売却損・処分損	0	52,868	△52,868
	特別費用計(9)	0	52,868	△52,868
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	0	△52,868	52,868
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		△3,069,551	△2,199,866	△869,685
繰越活動増減差額の部	繰越活動増減差額(12)	63,266,050	65,465,916	△2,199,866
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	60,196,499	63,266,050	△3,069,551
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	基金取崩額(15)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(16)	0	0	0
	その他の積立金積立額(17)	0	0	0
	次期繰越活動増減差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)	60,196,499	63,266,050	△3,069,551

法人単位貸借対照表
令和5年03月31日現在

法 人：社会福祉法人 横浜市港北区社会福祉協議会
事 業：法人全体

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	63,023,487	69,727,523	△6,704,036	流動負債	6,263,156	10,170,509	△3,907,353
現金預金	62,310,608	68,731,112	△6,420,504	事業未払金	5,063,022	7,567,338	△2,504,316
事業未収金	309,530	123,170	186,360	その他の未払金	754,434	1,761,613	△1,007,179
未収金	0	491,436	△491,436	未払費用	0	329,108	△329,108
前払金	0	3,650	△3,650	預り金	445,700	512,450	△66,750
前払費用	403,349	378,155	25,194	負債の部合計	6,263,156	10,170,509	△3,907,353
仮払金	0	0	0	純資産の部			
固定資産	229,403,024	229,721,892	△318,868	基本金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産	3,000,000	3,000,000	0	国庫補助金等特別積立金	26,835	72,835	△46,000
定期預金	3,000,000	3,000,000	0	その他の積立金	222,940,021	222,940,021	0
その他の固定資産	226,403,024	226,721,892	△318,868	社会福祉事業基金積立金	222,940,021	222,940,021	0
車輛運搬具	4	172,426	△172,422	次期繰越活動増減差額	60,196,499	63,266,050	△3,069,551
器具及び備品	3,462,999	3,609,445	△146,446	（うち当期活動増減差額）	△3,069,551	△2,199,866	△869,685
社会福祉事業基金積立資産	222,940,021	222,940,021	0	純資産の部合計	286,163,355	289,278,906	△3,115,551
その他の固定資産	0	0	0	負債及び純資産の部合計	292,426,511	299,449,415	△7,022,904
資産の部合計	292,426,511	299,449,415	△7,022,904				

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・満期保有目的の債券等－償却原価法（定額法）
- ・上記以外の有価証券で時価のあるもの－決算日の市場価格に基づく時価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

- ・建物並びに器具及び備品－定額法
- ・リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(3) 消費税等の会計処理

当法人は、消費税等の会計処理として、税込方式による。

3. 重要な会計方針の変更

該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度

該当なし

5. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

(1) 法人全体の計算書類(会計基準省令第一号第一様式、第二号第一様式、第三号第一様式)

(2) 事業区分別内訳表(会計基準省令第一号第二様式、第二号第二様式、第三号第二様式)

当法人では、社会福祉事業のみであるため作成していない。

(3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

当法人では、拠点が一つのため作成していない。

(4) 公益事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

当法人では、公益事業を実施していないため作成していない。

(5) 収益事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

当法人では、収益事業を実施していないため作成していない。

(6) 法人運営及び区社協実施事業拠点計算書類（第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式）

(7) 拠点区分資金収支明細書（別紙3（Ⅹ））

(8) 拠点区分事業活動明細書（別紙3（Ⅺ））

(9) 各拠点区分におけるサービス区分の内容

ア 法人運営及び区社協実施事業拠点（社会福祉事業）

法人運営

ボランティアセンター事業

地区社協活動支援事業

福祉保健活動拠点運営

共同募金配分事業

善意銀行運営

送迎サービス事業

移動情報センター事業

権利擁護事業

地域福祉活動推進事業

みんなの助成金配分事業

福祉基金

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
普通預金	3,000,000	0	0	3,000,000
合 計	3,000,000	0	0	3,000,000

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

8. 担保に供している資産

該当なし

9. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車輛運搬具	560,880	560,876	4
器具及び備品	8,167,602	4,704,603	3,462,999
合 計	8,728,482	5,265,479	3,463,003

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
神奈川県第230回公募公債	50,000,000	49,953,350	△46,650
神奈川県第232回公募公債	50,000,000	49,865,450	△134,550
神奈川県第232回公募公債	50,000,000	49,935,000	△65,000
合 計	150,000,000	149,753,800	△246,200

11. 関連当事者との取引の内容

該当なし

12. 重要な偶発債務

該当なし

13. 重要な後発事象

該当なし

14. 合併及び事業の譲渡若しくは事業の譲受け

該当なし

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

財産目録
令和5年3月31日現在

法人:社会福祉法人 横浜市港北区社会福祉協議会
事業:法人全体

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得 年度	使用目的等	取得価額	減価償却 累計額	貸借対照表 価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金		—		—	—	62,310,608
現金		—		—	—	33,500
小口現金		—		—	—	20,000
小口現金(一般)		—	運転資金として	—	—	20,000
その他の現金		—		—	—	13,500
その他の現金		—	運転資金として	—	—	13,500
預貯金		—		—	—	62,277,108
普通預金		—		—	—	62,277,108
1 普通預金(一般)	川崎信用金庫	—	運転資金として	—	—	29,559,771
2 普通預金(共募)	川崎信用金庫	—	運転資金として	—	—	19,473,600
3 普通預金(善銀)	川崎信用金庫	—	運転資金として	—	—	13,243,737
4 振替口座(汎用)	ゆうちょ銀行	—	振替口座として	—	—	0
8 振替口座(会費)	ゆうちょ銀行	—	振替口座として	—	—	0
事業未収金		—	あんしんセンター利用料	—	—	309,530
未収金		—		—	—	0
前払金		—		—	—	0
前払費用		—	保険料(施設賠償責任保険など)	—	—	403,349
仮払金		—		—	—	0
流動資産合計						63,023,487
2 固定資産						
(1) 基本財産						
定期預金		—		—	—	3,000,000
基本財産特定預金		—		—	—	3,000,000
定期預金(基本財産)	川崎信用金庫	—	基本財産として	—	—	3,000,000
基本財産合計						3,000,000
(2) その他の固定資産						
車輛運搬具	電動自転車	—	権利擁護事業	560,880	560,876	4
器具及び備品	防盜金庫、他	—	法人運営	8,167,602	4,704,603	3,462,999
社会福祉事業基金積立資産		—		—	—	222,940,021
普通預金(一般①)	川崎信用金庫	—		—	—	15,912,639
普通預金(一般②)	川崎信用金庫	—		—	—	37,027,382
国内公社債 (神奈川県第230回公募債)	野村証券	—	みんなの助成金、地区社協活動 支援のための原資	—	—	50,000,000
国内公社債 (神奈川県第232回公募債)	みずほ証券	—	みんなの助成金、地区社協活動 支援のための原資	—	—	100,000,000
証券預け金	川崎信用金庫	—		—	—	20,000,000
その他の固定資産合計						226,403,024
固定資産合計						229,403,024
資産合計						292,426,511
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	人件費、事務費他	—		—	—	5,063,022
その他の未払金	補助金戻入(福祉保健活動拠点他)	—		—	—	754,434
預り金	ボランティア活動保険	—		—	—	445,700
流動負債合計						6,263,156
固定負債合計						0
負債合計						6,263,156
差引純資産						286,163,355

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- ・同一の科目について控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、小計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
- ・「使用目的等」欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を簡潔に記載する。
なお、負債については、「使用目的等」欄の記載を要しない。
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
- ・建物についてのみ「取得年度」欄に記載する。
- ・減価償却資産(有形固定資産に限る)については、「減価償却累計額」欄に記載する。なお、減価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。
また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。
- ・車輛運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車輛番号は任意記載とする。
- ・預金に関する口座番号は任意記載とする。

監査報告書

令和5年5月29日

社会福祉法人横浜市港北区社会福祉協議会
会 長 加藤 修 様

監事 中山千加子 ⑩

監事 家鍋雄一郎 ⑩

私たち監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその附属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

① 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

② 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。